

ワーク 改訂概要

- ・定期テストを意識した内容にし「定期テスト対策ワーク」という名称に変更
学習・指導の流れを整理
全ての教科体裁を統一（コーナー名称の統一）
- ・全教科2色刷り（青）
- ・解答解説を縮刷版（墨一色） 英理社は4P 数国は2P
- ・確認テストが「チェック&トライ」に変更（剥ぎ取り → 中綴じ）
表面のチェック編は基本問題，裏面のトライ編は応用問題
- ・本体表2にQRコード → ポイントレッスン（レクチャームービーの後継版）
英語リスニング音声用
- ・別冊 「スコアアップ」 → 英語・国語 / 「カラー資料集」 → 理科・社会

■英語

- ・1単元・基本の展開 1セクション4ページ構成
学習のポイント→確認問題→基本問題→練習問題
- ・単元末の展開 4ページ構成
前半2ページ 単語・語句・文法のまとめ
後半2ページ まとめテスト（リスニングを含む配点付の問題）
- ・重要事項のまとめと問題 2ページ構成（文法事項の整理）

※現行ワークの巻末にあるリスニングコーナーは削除

■数学 文字の大きさがひとまわり大きくなる／レイアウト変更

- ・前学年の復習 現行ワークと基本的に同じ内容
 - ・学習と例題
現行ワークの学習のポイントとコーチの欄にある例題を合わせた形にレイアウトを変更
 - ・確認問題
現行ワークの基本問題レベルの問題で，例題に対応した基本的な問題
 - ・練習問題
例題に対応した練習問題を順に入れて，大設問のタイトルを，学習のタイトルに合わせてあり，例題へのリターンマークがついている。
 - ・応用問題 現行ワークの応用問題レベル
 - ・まとめテスト 各章末に現行ワークの実力 up 問題に相当する配点付の問題が入る。
- ※現行ワークから，中1・中2の総合問題，中1～中3のチャレンジ問題，中3の3年間の復習，入試対策テストは削除。

■理科

・学習／確認問題 2～3 ページ

内容を2～4ブロックに分け、用語の解説や、実験・観察手順の簡単な解説を行う。
ブロックごとに「確認問題」を配置し、スモールステップで反復学習を行う。

・実験／観察の整理 1 ページ（現行ワークの「重点学習 実験／観察」に相当）

縦2段組み 左段に実験・観察の手順と結果のまとめを配置し、右段に実験・観察に関する問題を配置。左段を確認しながら、右段の問題を解く。

・計算のトレーニング 2 ページ（現行ワークの「重点学習 計算」に相当）

・作図のトレーニング 1 ページ（現行ワークの「重点学習 作図／グラフ」に相当）

・基本問題／練習問題 各1 ページ（現行ワークの「確認・基本・練習問題」に相当）

「練習問題」は「基本問題」より難易度を上げる。

・重要事項のまとめ 2 ページ 見開き固定（現行ワークの「暗記事項のまとめに相当」

一問一答形式の問題ページ

・まとめテスト 2 ページ 配点付問題

・チャレンジ問題 2 ページ 会話形式や記述問題、表現力・思考力を問う発展的な問題

■社会 文字の大きさが、ひとまわり大きくなる。

・要点整理のページ

現行ワークは、1 ページで展開しており、語句の説明が主となっている。

新版は、2 ページ（見開き）とし、読みやすくわかりやすい文章中心の誌面に。

重要語句にはヤクモノをつけ、書体を変えて詳しく説明。

・一問一答式と基本ワーク

現行ワークは一問一答式で1 ページ、基本ワークは図版などを使用した問題で1 ページとなっているが、新版では「一問一答式」と「基本」を集約するような形で1 ページ構成とし、ヘッドを「確認問題」とする。教科書で太字になっている重要語句を問う。

歴史→大問1を年表問題、大問2を一問一答式とする。

地理・公民→大問1を図表を使った問題、大問2を一問一答式とする。

・重点ワーク

新版ではヘッドが「基本問題」に変わる。ここでは短文記述問題は出題しない。

・練習問題

見開き2 ページに統一。少なくとも必ず2問は短文記述問題を出題し、**表現力**というアイコンをつける。

・学習のまとめ 現行ワークは2 ページ構成だが、新版は4 ページ構成

「まとめテスト」→課を横断した総合問題（配点付）

「文章記述対策コーナー」→用語を説明する問題、資料読解問題を出題。